

工事費内訳書表紙(様式1)の記載例

様式1 (表紙)

工事費内訳書

入札者 住所 広島市中区基町10-52
 商号又は名称 県庁建設(株) **建設 県庁**

工事名 県道〇〇線道路改良工事

工事場所 〇〇市〇〇町5-1

〇下請負人及び見積額の記入を要する場合は、全ての1次下請予定者からの見積書の写しを添付してください。

〇低価格入札調査制度対象工事において、調査基準価格未満で入札される場合は、次の全ての項目に回答してください。(予定価格5億円以上(消費税及び地方消費税相当額を含む。))で予定価格を事後公表する工事においては、調査基準価格未満の入札となった場合を想定し、回答してください。)

番号	内容	回答
1	予定価格5千万円以上の場合、主任(監理)技術者が専任となり、さらに追加で技術者を配置することの可否 (予定価格5千万円未満の場合、主任(監理)技術者が現場代理人を兼ねないことの可否)	可/否
2	当該競争入札の開札時に、引渡しを終えていない低価格入札により落札した他の広島県発注工事(平成26年5月31日以前に指名・公告した工事を除く)の有無	有/無
3	当該競争入札の開札時に、引渡しを終えていない低価格入札により落札した他の広島県発注工事(平成26年5月31日以前に指名・公告した工事を除く)がある場合には重点調査の対象となることの可否 ※ 2で「無」の場合は記入不要	可/否

〇低価格入札調査制度対象工事において、重点調査の対象となる場合は次の全ての項目に回答のうえ、必要な書類を添付してください。(入札価格により対象となる場合を含む)
(予定価格5億円以上(消費税及び地方消費税相当額を含む。))で予定価格を事後公表する工事においては、重点調査の対象となった場合を想定し、回答してください。)

番号	内容	回答
4	当該工事が完了し、県が引渡しを受ける日までの間、業種を問わず他の広島県発注工事の入札に参加することが認められないことの可否 (ただし、共同企業体として入札に参加する場合で、一部の構成員が番号3に該当することにより重点調査の対象となる場合は、該当する構成員について記入してください。)	可/否
5	重点調査に関する資料の提出の可否 【添付資料:重点調査に関する資料】 (予定価格を契約締結後に公表する案件においては、重点調査に関する資料の添付は必要なく、開札後において対象者に提出を求めた際の提出の可否)	可/否
6	第三者による出来形管理及び品質管理を追加して実施することの可否	可/否

様式1は、全ての工事において、必ず提出してください。
提出がない場合は失格です。

※ 調査基準価格以上の入札金額でも提出は必要です。

建設工事入札参加資格者名簿に記載されている「(主たる)営業所の所在地」、「商号又は名称」を記入してください。JVの場合は、JV名称・JV代表者の住所を記入してください。**記入がない場合及び入札者が特定できない場合は失格**です。

※ 入札者の代表者(代表取締役等)の名前の記入は不要です。

※ 広島県との契約締結権限を有する営業所等において入札される場合は、その「住所」及び「商号又は名称に営業所名等を加えたもの」を記入してください。

原則として会社名(JVはJV代表者)の印とします。電子入札システムにより提出する場合は不要です。**紙入札の場合、押印がないと失格**です。

公告文等に記載の工事名・工事場所を記入してください。**工事名・工事場所が未記入であったり、誤りがあった場合失格**です。

他の工事で開札日までに低入札価格調査を経て契約を行う予定がある場合で、当該工事でも低価格入札を行う場合は重点調査となることを想定して記入して下さい。

調査基準価格未満で入札される場合のみ記入してください。

※調査基準価格以上で入札される場合は、記入しないでください。(※記入しても不利益な取扱いを受けることはありません。)

※ **予定価格を事後公表する工事**では、**低価格入札(調査基準価格未満の入札)となった場合を想定して記入**してください。記入しなくてもかまいませんが、記入せず低価格入札となった場合は低入札価格調査において失格となります。

重点調査の対象となる場合のみ記入してください。

※調査基準価格以上で入札される場合は、記入しないでください。(※記入しても不利益な取扱いを受けることはありません。)

※ **予定価格を事後公表する工事**では、**重点調査となった場合を想定して記入**してください。記入しなくてもかまいませんが、重点調査となった場合は失格となります。

工事費内訳書「工事費の内訳」及び「下請負人及び見積額」(様式2)の記載例

様式2の「工事費の内訳」は、必ず提出してください。**提出がない場合は失格**です。

※ 調査基準価格以上の入札金額でも提出は必要です。

○ 公告文等に記載の「工事名」、「工事場所」を記入。
記入がない場合、工事名・工事場所に誤りがあった場合失格になります。

- 商号又は名称: 建設工事入札参加資格者名簿の「商号又は名称」を記入。
- 建設業許可番号: 建設工事入札参加資格者名簿の「建設業許可番号」を記入
- 配置技術者相当職の年収: 概算年収を記入してください。
- 所要工期日数: 契約日(見込)から検査完了までの概ねの日数を記入(休日込)
(※公告に記載の予定工期(約○か月×30日/月)を超えないよう記入して下さい。)
上記4項目について記入がないと失格になります。

- 下請がない場合、元請負人の列のみ記入してください。
- 下請がある場合、元請負人と全ての一次下請予定者について記入してください。また、それぞれの見積書を添付してください。
※記入を求めているのに、記入がない場合及び見積書の添付がない場合は失格になります。

<入札者が示した工事費内訳書 様式2(例)>

様式2

「工事費の内訳」及び「下請負人及び見積額」

工事費の内訳						下請負人及び見積額				
工事名	工事場所	元請負人	商号又は名称	建設業許可番号	配置技術者相当職の年収(万円)	所要工期(日数)	元請負人	下請負人-1	下請負人-2	下請負人-3
							県庁建設部	西県庁工務部		
県道〇〇線道路改良工事	〇〇市〇〇町	〇〇建設株式会社	〇〇建設株式会社	3500055	600	150	500	500		
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	金額(円)		元請負人	下請負人-1	下請負人-2	下請負人-3	
本工事費										
道路改良		式	1	750,000	750,000	0				
道路土工		式	1	350,000	350,000	0				
細削工		式	1	350,000	350,000	0				
掘削	【砂質土】	m3	2,000	350,000	350,000	0				
擁壁工		式	1	400,000	400,000	0				
プレキャスト擁壁工		式	1	400,000	400,000	0				
プレキャスト擁壁	【L型擁壁、H=0.75m】	m	30	400,000	400,000	0				
舗装		式	1	1,080,000	800,000	280,000				
舗装工		式	1	1,080,000	800,000	280,000				
アスファルト舗装工		式	1	1,080,000	800,000	280,000				
下層路盤(車道・路肩部)	【RC-10、t=200mm】	m2	500	200,000	150,000	50,000				
上層路盤(車道・路肩部)	【M-30、t=100mm】	m2	500	180,000	150,000	30,000				
表層(車道・路肩部)	【再生密約75mm、t=30】	m2	500	700,000	500,000	200,000				
※※直接工事費※※				1,830,000	1,550,000	280,000				
技術管理費		式	1	68,000	68,000	0				
技術管理費		式	1	68,000	68,000	0				
技術管理費		式	1	68,000	68,000	0				
情報共有システム		式	1	68,000	68,000	0				
安全費		式	1	20,000	20,000	0				
安全費		式	1	20,000	20,000	0				
安全費		式	1	20,000	20,000	0				
交通誘導員		式	1	20,000	20,000	0				
共通仮設費率分				240,000	200,000	40,000				
※※共通仮設費率分※※				328,000	288,000	40,000				
※※純工事費※※				2,158,000	1,838,000	320,000				
現場管理費				600,000	500,000	100,000				
※※工事原価※※				2,758,000	2,338,000	420,000				
一般管理費率分				399,900	319,900	80,000				
契約保証費				1,100	1,100	0				
一般管理費計				401,000	321,000	80,000				
※※工事価格※※				3,159,000	2,659,000	500,000				
※※消費税相当額※※				252,720	212,720	40,000				
※※工事費計※※				3,411,720	2,871,720	540,000				
※※契約保証費計※※				1,100	1,100	0				

低価格入札(調査基準価格未満で入札)、予定価格(税込)1億円以上の時、記入してください。

<県が示した工事数量総括表(例)>

工事数量総括表

費目・工種明細	規格1・規格2	単位	数量	金額(円)
道路改良		式	1	750,000
道路土工		式	1	350,000
細削工		式	1	350,000
掘削	【砂質土】	m3	2,000	350,000
擁壁工		式	1	400,000
プレキャスト擁壁工		式	1	400,000
プレキャスト擁壁	【L型擁壁、H=0.75m】	m	30	400,000
舗装		式	1	1,080,000
舗装工		式	1	1,080,000
アスファルト舗装工		式	1	1,080,000
下層路盤(車道・路肩部)	【RC-10、t=200mm】	m2	500	200,000
上層路盤(車道・路肩部)	【M-30、t=100mm】	m2	500	180,000
表層(車道・路肩部)	【再生密約75mm、t=30】	m2	500	700,000
※※直接工事費※※				1,830,000
技術管理費		式	1	68,000
技術管理費		式	1	68,000
技術管理費		式	1	68,000
情報共有システム		式	1	68,000
安全費		式	1	20,000
安全費		式	1	20,000
安全費		式	1	20,000
交通誘導員		式	1	20,000
共通仮設費率分				240,000
※※共通仮設費率分※※				328,000
※※純工事費※※				2,158,000
現場管理費				600,000
※※工事原価※※				2,758,000
一般管理費率分				399,900
契約保証費				1,100
一般管理費計				401,000
※※工事価格※※				3,159,000
※※消費税相当額※※				252,720
※※工事費計※※				3,411,720
※※契約保証費計※※				1,100

工事数量総括表から対応する部分を漏れなく記入してください。

一次下請予定者から見積を徴収する際は、下請予定者が負担すべき法定福利費相当額などの必要経費を適切に計上するよう促すとともに、提出された見積書の内容を反映して記載してください。

次ページの現場管理費、一般管理費等の記入方法をご参照ください。

※見積書に記載した工事価格と「下請負人及び見積額」に記入した工事価格が一致しない場合は失格になります。

「費目・工種明細」、「単位・数量」について、**記入漏れがあった場合、工事数量総括表で「1式」となっていない項目を「1式」とした場合、失格**になります。

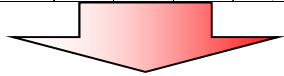
入札価格に対応する工事費の内訳を記入してください。**工事価格(複数ある場合は工事価格の合計)と入札価格が一致しないと失格**になります。

下請負人の見積書から様式2『工事費の内訳』及び『下請負人及び見積額』への現場管理費、一般管理費等の記入方法について

下請負人からの見積書

<工事数量総括表に基づいた見積(例)>

工種・名称	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
工事名: ○○線道路改良工事						
道路土工					3,500,000	
掘削工	砂質土	5,000	m ³	100	500,000	
路体(築堤)盛土	W=2.5m未満	750	m ³	4,000	3,000,000	
直接工事費					3,500,000	うち労務費1,200千円
共通仮設費					400,000	うち労務費100千円
現場管理費					1,325,000	
うち法定福利費(事業主負担分)					206,700	労務費1,300千円×0.159
一般管理費					400,000	
工事価格					5,625,000	
消費税相当額					450,000	
工事費					6,075,000	

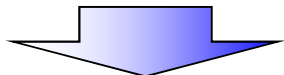


元請けの判断で必要項目に計上

- 各項目を見積の項目のとおり工事費内訳書に計上(例1)
- 下請の一般管理費は外注経費として現場管理費に合算して計上(例2)

<諸経費として計上された見積(例)>

工種・名称	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
工事名: ○○線道路改良工事						
道路土工					3,500,000	
掘削工	砂質土	5,000	m ³	100	500,000	
路体(築堤)盛土	W=2.5m未満	750	m ³	4,000	3,000,000	
直接工事費					3,500,000	うち労務費1,200千円
共通仮設費					400,000	うち労務費100千円
諸経費					1,725,000	
うち法定福利費(事業主負担分)					206,700	労務費1,300千円×0.159
工事価格					5,625,000	
消費税相当額					450,000	
工事費					6,075,000	



元請けの判断で必要項目に計上

- 諸経費を外注経費として現場管理費に計上(例2)

様式2

「工事費の内訳」及び「下請負人及び見積額」

工事費の内訳				下請負人及び見積額			
工事名	工事場所	元請負人	元請負人	下請負人-1	下請負人-2	下請負人-3	
○○線道路改良工事	○○市○○町○○工区	番号又は名称 建設業許可番号 前職業者相当額の率(%) 所収(日数)	aa建設株式会社 310000AA 600 150	bb建設株式会社 310000BB 500 100			
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	金額(円)	aa建設株式会社	bb建設株式会社	
本工事費							
道路改良		式	1	3,940,000	440,000	3,500,000	
道路土工		式	1	3,940,000	440,000	3,500,000	
掘削工		式	1	940,000	440,000	500,000	
掘削	砂質土	m ³	5,000	940,000	440,000	500,000	
路体盛土工		式	1	3,000,000	0	3,000,000	
路体(築堤)盛土	W=2.5m未満	m ³	750	3,000,000	0	3,000,000	
直接工事費				3,940,000	440,000	3,500,000	
共通仮設費率分				500,000	100,000	400,000	
共通仮設費計				500,000	100,000	400,000	
純工事費				4,440,000	540,000	3,900,000	
現場管理費				1,500,000	175,000	1,325,000	
工事原価				5,940,000	715,000	5,225,000	
一般管理費率分				1,197,600	797,600	400,000	
契約保証費				2,400	2,400		
一般管理費計				1,200,000	800,000	400,000	
工事価格				7,140,000	1,515,000	5,625,000	
消費税相当額				571,200	121,200	450,000	
工事費計				7,711,200	1,636,200	6,075,000	
契約保証費計				2,400	2,400		

元請として該当すると判断した項目に計上してください。

※いずれの計上方法でも失格にはなりません。

例1: 工事数量総括表の項目に
合わせて記入

共通仮設費率分	400,000
共通仮設費計	400,000
純工事費	3,900,000
現場管理費	1,325,000
工事原価	5,225,000
一般管理費率分	400,000
契約保証費	
一般管理費計	400,000

例2: 下請の一般管理費を外注経費として現場管理費に計上し記入

共通仮設費率分	400,000
共通仮設費計	400,000
純工事費	3,900,000
現場管理費	1,725,000
工事原価	5,625,000
一般管理費率分	
契約保証費	
一般管理費計	

工事費内訳書 労務賃金調書(様式3)の記載例

様式3

労務賃金調書

○ 元請人で従事予定労務者がいない場合は、会社名のみ記載してください。

会社名	元請負人		下請負人							
	県庁建設機		㈱県庁工務店							
	日当り賃金(円/日)		日当り賃金(円/日)		日当り賃金(円/日)		日当り賃金(円/日)		日当り賃金(円/日)	
職種	最低額	最高額	最低額	最高額	最低額	最高額	最低額	最高額	最低額	最高額
1) 特殊作業員			17,000	18,000						
2) 普通作業員	14,000	14,000	14,500	15,000						
3) 軽作業員										
4) 造園工										
5) 法面工										
6) とび工										
7) 石工										
8) ブロック工	18,500	18,500								
9) 電工										
10) 鉄筋工										
11) 鉄骨工										
12) 塗装工										
13) 溶接工										
14) 運転手(特殊)	16,000	16,000								
15) 運転手(一般)										
16) 潜かん工										
17) 潜かん世話役										
18) さく岩工										
19) トンネル特殊工										
20) トンネル作業員										
21) トンネル世話役										
22) 橋りょう特殊工										
23) 橋りょう塗装工										
24) 橋りょう世話役										
25) 土木一般世話役	18,000	18,000								
26) 高級船員										
27) 普通船員										
28) 潜水士										
29) 潜水連絡員										
30) 潜水送気員										

例えば現場に、普通作業員として年配のAさん(14,750円/日)、中堅のBさん(15,000円/日)、若手のCさん(14,500円/日)を配置する予定の場合は、

最高額: 15,000円(Bさん)

最低額: 14,500円(Cさん)

を記入してください。

※日あたり賃金は、1日当たり8時間労働に換算した賃金としてください。

※当該職種の労働者が1名の場合や全員が同額の場合は、最低額と最高額の両方に記入してください。

○ 低価格入札及び予定価格(税込)5億円以上の工事で、**様式3の提出がない場合及び従事予定労務者の記載がない場合(元請負人で従事予定者のいない場合を除く。)**は失格となります。

以降職種続きあり

